一　般　教　育　訓　練　明 示 書

施設の名称	群馬社会福祉専門学校

講　座　の　名　称	指定講座番号	番号	教育訓練経費
介護福祉士実務者研修通信課程 1年コース（無資格者）	1020068-1610012-9	A	87,500円
介護福祉士実務者研修通信課程 1年コース（訪問介護員2級修了者）	1020068-1610032-4	B	62,500円
介護福祉士実務者研修通信課程 1年コース（介護職員初任者研修修了者）	1020068-1610042-7	C	62,500円
介護福祉士実務者研修通信課程 6ヶ月コース（無資格者）	1020068-1610072-5	D	87,500円
介護福祉士実務者研修通信課程 6ヶ月コース（訪問介護員2級修了者）	1020068-1610092-0	E	62,500円
介護福祉士実務者研修通信課程 6ヶ月コース（介護職員初任者研修修了者）	1020068-1610102-1	F	62,500円

A　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	群馬社会福祉専門学校　介護福祉士実務者研修通信課程1年コース(無資格者)			
指 定 講 座 番 号	1020068-1610012-9			
実 施 方 法	通信　（ e-learning・レポート・スクーリング）			
講 座 の 創 設 年 月 日 平成25年7月1日	一般教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績 (令和6年度)	入講者数（累積）（28人）	修了者数　（39人）
訓 練 期 間	1年		総 訓 練 時 間	474時間

1.　教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	介護に関心があり、知識・技術の習得を希望する者 介護福祉士資格の取得を目指す者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておる業界と活用状況	介護福祉士国家試験受験に必須 介護福祉分野において介護業務に従事 サービス提供責任者として活躍

2.　教 育 訓 練 の 内 容

教 科　（カ リ キ ュ ラ ム）	時 間	使 用 教 材 名
人間の尊厳と自立	5	介護福祉士実務者研修テキスト 全5巻 （中央法規出版）
社会の理解Ⅰ	5	
社会の理解Ⅱ	30	
介護の基本Ⅰ	10	
介護の基本Ⅱ	20	
コミュニケーション技術	20	
生活支援技術Ⅰ	20	
生活支援技術Ⅱ	30	
介護過程Ⅰ	20	
介護過程Ⅱ	25	
介護過程Ⅲ	45	
発達と老化の理解Ⅰ	10	
発達と老化の理解Ⅱ	20	
認知症の理解Ⅰ	10	
認知症の理解Ⅱ	20	
障害の理解Ⅰ	10	
障害の理解Ⅱ	20	
こころとからだのしくみⅠ	20	
こころとからだのしくみⅡ	60	
医療的ケア	50	
医療的ケア演習	24	

3.　受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	特になし
③その他	特になし

A　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4.　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① R5年度内の受講修了者数	27 人			
② ①のうち目標資格の受験者数	27 人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	27 人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	27 人			

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		11 人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	11 人	②A:就業者計 11人
	2 非正社員、派遣社員	0 人	
	3 その他の就業(自営業等)	0 人	
	4 非就業	0 人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	10 人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 11人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	1 人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0 人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	11 人	④A:就業者計 11人
	2 非正社員、派遣社員	0 人	
	3 その他の就業(自営業等)	0 人	
	4 非就業者	0 人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	1 人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 11人
	2 1割以上3割未満増加した	2 人	
	3 1割未満増加した	4 人	
	4 変わらない	4 人	
	5 1割未満減少した	0 人	
	6 1割以上3割未満減少した	0 人	
	7 3割以上減少した	0 人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	5 人	⑥の回答数合計 11人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0 人	
	3 社内外の評価が高まる	2 人	
	4 早期に転職・再就職できる	0 人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0 人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0 人	
	7 趣味・教養に役立つ	0 人	
	8 その他の効果	4 人	
	9 特に効果はない	0 人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0 人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0 人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0 人	
	4 就職していない	0 人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	5 人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 11人
	2 おおむね満足	6 人	
	3 どちらとも言えない	0 人	
	4 やや不満	0 人	
	5 大いに不満	0 人	

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5.　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	提出されたレポート、e-Learning学習の評価及びスクーリング時の試験・実技により、理解度・到達度を確認する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	本校および両毛サテライトキャンパス、太田会場、利根・沼田会場、安中・富岡会場、高崎会場、伊勢崎会場で実施。 介護過程Ⅲ 8日間 ・ 医療的ケア演習 4日間

6.　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

全てのレポートおよびe-Learning学習による評価が「C」以上。スクーリングにおいては8割以上の出席及び介護過程Ⅲの試験で60点以上、医療的ケア演習での実技を規定回数以上実施し合格評価を得ること。

A　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	レポート添削時の講評として、良い点・不足している点等を指摘し、次の学習に繋がるようアドバイスをする。e-Learningにおいては進捗状況把握に努め、必要に応じて個別対応を行う。質問票及び個別指導の希望にも随時対応している。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	本校の開講する国家試験受験対策講座への受講可能。 参考書籍・模擬試験等の情報提供を行う。

8.　その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　昌賢学園	(代表者名: 理事長　鈴木　利定)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
施設名称及び施設長名	群馬社会福祉専門学校	(施設長:　校長　　鈴木　賢二)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
給付制度担当部署・者	実務者研修通信課程事務局	(担当者:　橋本　智子　　)
連絡先	TEL　027-253-0345	

一般教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① ＋ ②)	87,500	円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0	円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	87,500 (差引き後の金額	円 円)
	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④)	14,080	円
	①　テキスト・副読本代(税込額)	14,080	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③　施設維持費(税込額)	0	円
	④　その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0	円
	3.　総額 (1＋2) (税込額)	101,580	円

〔特記事項〕

認知症実践者研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。87,500円－5,500円＝82,000円

喀痰吸引等研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。 87,500円－13,000円＝74,500円

B　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	群馬社会福祉専門学校　介護福祉士実務者研修通信課程1年コース(訪問介護員2級修了者)			
指 定 講 座 番 号	1020068-1610032-4			
実 施 方 法	通信　（ e-learning・レポート・スクーリング）			
講 座 の 創 設 年 月 日 平成25年7月1日	一般教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績 (令和6年度)	入講者数（累積）（6人）	修了者数　（1人）
訓 練 期 間	1年		総 訓 練 時 間	344時間

1.　教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	介護に関心があり、知識・技術の習得を希望する者 介護福祉士資格の取得を目指す者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておる業界と活用状況	介護福祉士国家試験受験に必須 介護福祉分野において介護業務に従事 サービス提供責任者として活躍

2.　教 育 訓 練 の 内 容

教 科　（カリキュラム）	時 間	使 用 教 材 名
社会の理解Ⅱ	30	介護福祉士実務者研修テキスト 全5巻 （中央法規出版）
コミュニケーション技術	20	
介護過程Ⅱ	25	
介護過程Ⅲ	45	
発達と老化の理解Ⅰ	10	
発達と老化の理解Ⅱ	20	
認知症の理解Ⅰ	10	
認知症の理解Ⅱ	20	
障害の理解Ⅰ	10	
障害の理解Ⅱ	20	
こころとからだのしくみⅡ	60	
医療的ケア	50	
医療的ケア演習	24	

3.　受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	訪問介護員研修2級の課程を修了していること。
③その他	特になし

B　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4.　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

①　R5年度内の受講修了者数	4	人			
②　①のうち目標資格の受験者数	4	人	受験率(②/①)	100.0	%
③　②のうち合格者数	4	人	合格率(③/②)	100.0	%
④　上記②･③の回答者数	4	人			

(2)受講修了者による講座の評価等

①　回答者総数		3	人	
②　受講開始時の就業状況等	1　正社員	0	人	②A:就業者計
	2　非正社員、派遣社員	3	人	
	3　その他の就業(自営業等)	0	人	3人
	4　非就業	0	人	②B:非就業者計
③　受講開始前と現在の就業先の変化	1　受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	3	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2　受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0	人	
	3　受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	3人
④　受講後の就業形態	1　正社員	0	人	④A:就業者計
	2　非正社員、派遣社員	3	人	
	3　その他の就業(自営業等)	0	人	3人
	4　非就業者	0	人	④B:非就業者計
⑤　受講後の賃金変化	1　3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2　1割以上3割未満増加した	0	人	
	3　1割未満増加した	1	人	
	4　変わらない	2	人	
	5　1割未満減少した	0	人	
	6　1割以上3割未満減少した	0	人	
	7　3割以上減少した	0	人	3人
⑥　講座の受講の効果	1　処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計
	2　配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人	
	3　社内外の評価が高まる	0	人	
	4　早期に転職･再就職できる	1	人	
	5　希望の職種･業界に転職･再就職できる	0	人	
	6　より良い条件(賃金等)で転職･再就職できる	1	人	
	7　趣味･教養に役立つ	1	人	
	8　その他の効果	0	人	
	9　特に効果はない	1	人	5人
⑦　受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1　受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2　受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人	
	3　受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人	
	4　就職していない	0	人	0人
⑧　講座の全体評価	1　大変満足	0	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2　おおむね満足	1	人	
	3　どちらとも言えない	2	人	
	4　やや不満	0	人	
	5　大いに不満	0	人	3人

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍･採用企業の側の評価 等)

5.　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能･知識のレベル到達度の把握･測定方法	提出されたレポート、e-Learning学習の評価及びスクーリング時の試験･実技により、理解度･到達度を確認する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間･回数	本校および両毛サテライトキャンパス、太田会場、利根･沼田会場、安中･富岡会場、高崎会場、伊勢崎会場で実施。 介護過程Ⅲ 8日間 ・ 医療的ケア演習 4日間

6.　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

全てのレポートおよびe-Learning学習による評価が「C」以上。スクーリングにおいては8割以上の出席及び介護過程Ⅲの試験で60点以上、医療的ケア演習での実技を規定回数以上実施し合格評価を得ること。

B　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	レポート添削時の講評として、良い点・不足している点等を指摘し、次の学習に繋がるようアドバイスをする。e-Learningにおいては進捗状況把握に努め、必要に応じて個別対応を行う。質問票及び個別指導の希望にも随時対応している。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	本校の開講する国家試験受験対策講座への受講可能。 参考書籍・模擬試験等の情報提供を行う。

8.　その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　昌賢学園	(代表者名: 理事長　鈴木　利定)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
施設名称及び施設長名	群馬社会福祉専門学校	(施設長:　校長　　鈴木　賢二)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
給付制度担当部署・者	実務者研修通信課程事務局	(担当者:　橋本　智子　　)
連絡先	TEL　027-253-0345	

一般教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① ＋ ②)	62,500	円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0	円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	62,500 (差引き後の金額	円 円)
	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④)	14,080	円
	①　テキスト・副読本代(税込額)	14,080	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③　施設維持費(税込額)	0	円
	④　その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0	円
	3.　総額 (1＋2) (税込額)	76,580	円

〔特記事項〕

認知症実践者研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。62,500円－5,500円＝57,000円

喀痰吸引等研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。 62,500円－13,000円＝49,500円

C　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	群馬社会福祉専門学校　介護福祉士実務者研修通信課程1年コース(介護職員初任者研修修了者)			
指 定 講 座 番 号	1020068-1610042-7			
実 施 方 法	通信　（ e-learning・レポート・スクーリング）			
講 座 の 創 設 年 月 日 平成25年7月1日	一般教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績 (令和6年度)	入講者数（累積）（17人）	修了者数　（24人）
訓 練 期 間	1年		総 訓 練 時 間	344時間

1.　教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	介護に関心があり、知識・技術の習得を希望する者 介護福祉士資格の取得を目指す者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護福祉士国家試験受験に必須 介護福祉分野において介護業務に従事 サービス提供責任者として活躍

2.　教 育 訓 練 の 内 容

教　科　（カリキュラム）	時 間	使 用 教 材 名
社会の理解Ⅱ	30	介護福祉士実務者研修テキスト 全5巻 （中央法規出版）
介護の基本Ⅱ	20	
コミュニケーション技術	20	
介護過程Ⅱ	25	
介護過程Ⅲ	45	
発達と老化の理解Ⅰ	10	
発達と老化の理解Ⅱ	20	
認知症の理解Ⅱ	20	
障害の理解Ⅱ	20	
こころとからだのしくみⅡ	60	
医療的ケア	50	
医療的ケア演習	24	

3.　受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	介護職員初任者研修の課程を修了していること。
③その他	特になし

C　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4.　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① R5年度内の受講修了者数	12 人			
② ①のうち目標資格の受験者数	12 人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	12 人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	12 人			

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		6 人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	5 人	②A:就業者計 6人
	2 非正社員、派遣社員	1 人	
	3 その他の就業(自営業等)	0 人	
	4 非就業	0 人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	6 人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 6人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0 人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0 人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	5 人	④A:就業者計 6人
	2 非正社員、派遣社員	1 人	
	3 その他の就業(自営業等)	0 人	
	4 非就業者	0 人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	1 人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 6人
	2 1割以上3割未満増加した	1 人	
	3 1割未満増加した	2 人	
	4 変わらない	2 人	
	5 1割未満減少した	0 人	
	6 1割以上3割未満減少した	0 人	
	7 3割以上減少した	0 人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	4 人	⑥の回答数合計 10人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1 人	
	3 社内外の評価が高まる	1 人	
	4 早期に転職・再就職できる	0 人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0 人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0 人	
	7 趣味・教養に役立つ	2 人	
	8 その他の効果	1 人	
	9 特に効果はない	1 人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0 人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0 人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0 人	
	4 就職していない	0 人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	4 人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 6人
	2 おおむね満足	2 人	
	3 どちらとも言えない	0 人	
	4 やや不満	0 人	
	5 大いに不満	0 人	

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5.　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	提出されたレポート、e-Learning学習の評価及びスクーリング時の試験・実技により、理解度・到達度を確認する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	本校および両毛サテライトキャンパス、太田会場、利根・沼田会場、安中・富岡会場、高崎会場、伊勢崎会場で実施。 介護過程Ⅲ 8日間 ・ 医療的ケア演習 4日間

6.　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

全てのレポートおよびe-Learning学習による評価が「C」以上。スクーリングにおいては8割以上の出席及び介護過程Ⅲの試験で60点以上、医療的ケア演習での実技を規定回数以上実施し合格評価を得ること。

C　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	レポート添削時の講評として、良い点・不足している点等を指摘し、次の学習に繋がるようアドバイスをする。e-Learningにおいては進捗状況把握に努め、必要に応じて個別対応を行う。質問票及び個別指導の希望にも随時対応している。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	本校の開講する国家試験受験対策講座への受講可能。 参考書籍・模擬試験等の情報提供を行う。

8.　その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　昌賢学園	(代表者名: 理事長　鈴木　利定)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
施設名称及び施設長名	群馬社会福祉専門学校	(施設長:　校長　　鈴木　賢二)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
給付制度担当部署・者	実務者研修通信課程事務局	(担当者:　橋本　智子　　)
連絡先	TEL　027-253-0345	

一般教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① ＋ ②)	62,500	円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0	円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	62,500 (差引き後の金額	円 円)
	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④)	14,080	円
	①　テキスト・副読本代(税込額)	14,080	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③　施設維持費(税込額)	0	円
	④　その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0	円
	3.　総額 (1＋2) (税込額)	76,580	円

〔特記事項〕

認知症実践者研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。62,500円－5,500円＝57,000円

喀痰吸引等研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。 62,500円－13,000円＝49,500円

D　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	群馬社会福祉専門学校　介護福祉士実務者研修通信課程6ヶ月コース(無資格者)			
指 定 講 座 番 号	1020068-1610072-5			
実 施 方 法	通信　（ e-learning・レポート・スクーリング）			
講 座 の 創 設 年 月 日 平成25年7月1日	一般教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績 (令和6年度)	入講者数（累積）（29人）	修了者数　（27人）
訓 練 期 間	6ヶ月		総 訓 練 時 間	474時間

1.　教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	介護に関心があり、知識・技術の習得を希望する者 介護福祉士資格の取得を目指す者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておる業界と活用状況	介護福祉士国家試験受験に必須 介護福祉分野において介護業務に従事 サービス提供責任者として活躍

2.　教 育 訓 練 の 内 容

教 科　（カ リ キ ュ ラ ム）	時 間	使 用 教 材 名
人間の尊厳と自立	5	介護福祉士実務者研修テキスト 全5巻 （中央法規出版）
社会の理解Ⅰ	5	
社会の理解Ⅱ	30	
介護の基本Ⅰ	10	
介護の基本Ⅱ	20	
コミュニケーション技術	20	
生活支援技術Ⅰ	20	
生活支援技術Ⅱ	30	
介護過程Ⅰ	20	
介護過程Ⅱ	25	
介護過程Ⅲ	45	
発達と老化の理解Ⅰ	10	
発達と老化の理解Ⅱ	20	
認知症の理解Ⅰ	10	
認知症の理解Ⅱ	20	
障害の理解Ⅰ	10	
障害の理解Ⅱ	20	
こころとからだのしくみⅠ	20	
こころとからだのしくみⅡ	60	
医療的ケア	50	
医療的ケア演習	24	

3.　受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	特になし
③その他	特になし

D　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4.　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① R5年度内の受講修了者数	24	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	24	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	24	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	24	人			

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		16	人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	8	人	②A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	7	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	15人
	4 非就業	1	人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	14	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	1	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	15人
④ 受講後の就業形態	1 正社員	9	人	④A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	6	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	15人
	4 非就業者	1	人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2 1割以上3割未満増加した	4	人	
	3 1割未満増加した	5	人	
	4 変わらない	6	人	
	5 1割未満減少した	0	人	
	6 1割以上3割未満減少した	0	人	
	7 3割以上減少した	0	人	15人
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	8	人	⑥の回答数合計
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	3	人	
	3 社内外の評価が高まる	4	人	
	4 早期に転職・再就職できる	4	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	3	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	3	人	
	7 趣味・教養に役立つ	1	人	
	8 その他の効果	0	人	
	9 特に効果はない	6	人	32人
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人	
	4 就職していない	1	人	1人
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	8	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	8	人	
	3 どちらとも言えない	0	人	
	4 やや不満	0	人	
	5 大いに不満	0	人	16人

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5.　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	提出されたレポート、e-Learning学習の評価及びスクーリング時の試験・実技により、理解度・到達度を確認する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	本校および両毛サテライトキャンパス、太田会場、利根・沼田会場、安中・富岡会場、高崎会場、伊勢崎会場で実施。 介護過程Ⅲ 8日間 ・ 医療的ケア演習 4日間

6.　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

全てのレポートおよびe-Learning学習による評価が「C」以上。スクーリングにおいては8割以上の出席及び介護過程Ⅲの試験で60点以上、医療的ケア演習での実技を規定回数以上実施し合格評価を得ること。

D

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	レポート添削時の講評として、良い点・不足している点等を指摘し、次の学習に繋がるようアドバイスをする。e-Learningにおいては進捗状況把握に努め、必要に応じて個別対応を行う。質問票及び個別指導の希望にも随時対応している。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	本校の開講する国家試験受験対策講座への受講可能。 参考書籍・模擬試験等の情報提供を行う。

8.　その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　昌賢学園	(代表者名: 理事長　鈴木　利定)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
施設名称及び施設長名	群馬社会福祉専門学校	(施設長:　校長　　鈴木　賢二)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
給付制度担当部署・者	実務者研修通信課程事務局	(担当者:　橋本　智子　　)
連絡先	TEL　027-253-0345	

一般教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① ＋ ②)	87,500	円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0	円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	87,500 (差引き後の金額	円 円)
	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④)	14,080	円
	①　テキスト・副読本代(税込額)	14,080	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③　施設維持費(税込額)	0	円
	④　その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0	円
	3.　総額 (1＋2) (税込額)	101,580	円

〔特記事項〕

認知症実践者研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。87,500円－5,500円＝82,000円

喀痰吸引等研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。 87,500円－13,000円＝74,500円

E　一般教育訓練明示書

講座の名称	群馬社会福祉専門学校　介護福祉士実務者研修通信課程6ヶ月コース(訪問介護員2級修了者)			
指定講座番号	1020068-1610092-0			
実施方法	通信　（e-learning・レポート・スクーリング）			
講座の創設年月日 平成25年7月1日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績 (令和6年度)	入講者数（累積）（4人）	修了者数　（4人）
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	344時間

1.　教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	介護に関心があり、知識・技術の習得を希望する者 介護福祉士資格の取得を目指す者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておる業界と活用状況	介護福祉士国家試験受験に必須 介護福祉分野において介護業務に従事 サービス提供責任者として活躍

2.　教育訓練の内容

教科　（カリキュラム）	時間	使用教材名
社会の理解Ⅱ	30	介護福祉士実務者研修テキスト 全5巻 （中央法規出版）
コミュニケーション技術	20	
介護過程Ⅱ	25	
介護過程Ⅲ	45	
発達と老化の理解Ⅰ	10	
発達と老化の理解Ⅱ	20	
認知症の理解Ⅰ	10	
認知症の理解Ⅱ	20	
障害の理解Ⅰ	10	
障害の理解Ⅱ	20	
こころとからだのしくみⅡ	60	
医療的ケア	50	
医療的ケア演習	24	

3.　受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	訪問介護員研修2級の課程を修了していること。
③その他	特になし

E　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4.　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① R5年度内の受講修了者数	6 人			
② ①のうち目標資格の受験者数	6 人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	6 人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	6 人			

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		4 人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	4 人	②A:就業者計 4人
	2 非正社員、派遣社員	0 人	
	3 その他の就業(自営業等)	0 人	
	4 非就業	0 人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	4 人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 4人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	0 人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0 人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	4 人	④A:就業者計 4人
	2 非正社員、派遣社員	0 人	
	3 その他の就業(自営業等)	0 人	
	4 非就業者	0 人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0 人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 4人
	2 1割以上3割未満増加した	1 人	
	3 1割未満増加した	1 人	
	4 変わらない	1 人	
	5 1割未満減少した	0 人	
	6 1割以上3割未満減少した	1 人	
	7 3割以上減少した	0 人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3 人	⑥の回答数合計 6人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0 人	
	3 社内外の評価が高まる	0 人	
	4 早期に転職・再就職できる	1 人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	0 人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	2 人	
	7 趣味・教養に役立つ	0 人	
	8 その他の効果	0 人	
	9 特に効果はない	0 人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0 人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0 人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0 人	
	4 就職していない	0 人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	0 人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 4人
	2 おおむね満足	4 人	
	3 どちらとも言えない	0 人	
	4 やや不満	0 人	
	5 大いに不満	0 人	

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5.　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	提出されたレポート、e-Learning学習の評価及びスクーリング時の試験・実技により、理解度・到達度を確認する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	本校および両毛サテライトキャンパス、太田会場、利根・沼田会場、安中・富岡会場、高崎会場、伊勢崎会場で実施。 介護過程Ⅲ 8日間 ・ 医療的ケア演習 4日間

6.　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

全てのレポートおよびe-Learning学習による評価が「C」以上。スクーリングにおいては8割以上の出席及び介護過程Ⅲの試験で60点以上、医療的ケア演習での実技を規定回数以上実施し合格評価を得ること。

E　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	レポート添削時の講評として、良い点・不足している点等を指摘し、次の学習に繋がるようアドバイスをする。e-Learningにおいては進捗状況把握に努め、必要に応じて個別対応を行う。質問票及び個別指導の希望にも随時対応している。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	本校の開講する国家試験受験対策講座への受講可能。 参考書籍・模擬試験等の情報提供を行う。

8.　その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　昌賢学園	(代表者名: 理事長　鈴木　利定)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
施設名称及び施設長名	群馬社会福祉専門学校	(施設長:　校長　　鈴木　賢二)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
給付制度担当部署・者	実務者研修通信課程事務局	(担当者:　橋本　智子　　)
連絡先	TEL　027-253-0345	

一般教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① ＋ ②)	62,500	円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0	円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	62,500 (差引き後の金額	円 円)
	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④)	14,080	円
	①　テキスト・副読本代(税込額)	14,080	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③　施設維持費(税込額)	0	円
	④　その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0	円
	3.　総額 (1＋2) (税込額)	76,580	円

〔特記事項〕

認知症実践者研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。62,500円－5,500円＝57,000円

喀痰吸引等研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。 62,500円－13,000円＝49,500円

F　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	群馬社会福祉専門学校　介護福祉士実務者研修通信課程6ヶ月コース(介護職員初任者研修修了者)			
指 定 講 座 番 号	1020068-1610102-1			
実 施 方 法	通信　（ e-learning・レポート・スクーリング）			
講 座 の 創 設 年 月 日 平成25年7月1日	一般教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績 (令和6年度)	入講者数（累積）（15人）	修了者数　（14人）
訓 練 期 間	6ヶ月		総 訓 練 時 間	344時間

1.　教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	介護に関心があり、知識・技術の習得を希望する者 介護福祉士資格の取得を目指す者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護福祉士国家試験受験に必須 介護福祉分野において介護業務に従事 サービス提供責任者として活躍

2.　教 育 訓 練 の 内 容

教　科　（カリキュラム）	時 間	使 用 教 材 名
社会の理解Ⅱ	30	介護福祉士実務者研修テキスト 全5巻 （中央法規出版）
介護の基本Ⅱ	20	
コミュニケーション技術	20	
介護過程Ⅱ	25	
介護過程Ⅲ	45	
発達と老化の理解Ⅰ	10	
発達と老化の理解Ⅱ	20	
認知症の理解Ⅱ	20	
障害の理解Ⅱ	20	
こころとからだのしくみⅡ	60	
医療的ケア	50	
医療的ケア演習	24	

3.　受 講 者 と な る た め の 要 件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	介護職員初任者研修の課程を修了していること。
③その他	特になし

F　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4.　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

①　R5年度内の受講修了者数	10	人			
②　①のうち目標資格の受験者数	10	人	受験率(②/①)	100.0	%
③　②のうち合格者数	10	人	合格率(③/②)	100.0	%
④　上記②･③の回答者数	10	人			

(2)受講修了者による講座の評価等

①　回答者総数		8	人	
②　受講開始時の就業状況等	1　正社員	6	人	②A:就業者計
	2　非正社員、派遣社員	1	人	
	3　その他の就業(自営業等)	1	人	8人
	4　非就業	0	人	②B:非就業者計
③　受講開始前と現在の就業先の変化	1　受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	7	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2　受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	1	人	
	3　受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	8人
④　受講後の就業形態	1　正社員	6	人	④A:就業者計
	2　非正社員、派遣社員	1	人	
	3　その他の就業(自営業等)	1	人	8人
	4　非就業者	0	人	④B:非就業者計
⑤　受講後の賃金変化	1　3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2　1割以上3割未満増加した	2	人	
	3　1割未満増加した	1	人	
	4　変わらない	5	人	
	5　1割未満減少した	0	人	
	6　1割以上3割未満減少した	0	人	
	7　3割以上減少した	0	人	8人
⑥　講座の受講の効果	1　処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	6	人	⑥の回答数合計
	2　配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人	
	3　社内外の評価が高まる	2	人	
	4　早期に転職･再就職できる	1	人	
	5　希望の職種･業界に転職･再就職できる	1	人	
	6　より良い条件(賃金等)で転職･再就職できる	2	人	
	7　趣味･教養に役立つ	1	人	
	8　その他の効果	1	人	
	9　特に効果はない	2	人	17人
⑦　受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1　受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2　受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人	
	3　受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人	
	4　就職していない	0	人	0人
⑧　講座の全体評価	1　大変満足	3	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2　おおむね満足	3	人	
	3　どちらとも言えない	1	人	
	4　やや不満	1	人	
	5　大いに不満	0	人	8人

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍･採用企業の側の評価 等)

5.　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能･知識のレベル到達度の把握･測定方法	提出されたレポート、e-Learning学習の評価及びスクーリング時の試験･実技により、理解度･到達度を確認する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間･回数	本校および両毛サテライトキャンパス、太田会場、利根･沼田会場、安中･富岡会場、高崎会場、伊勢崎会場で実施。 介護過程Ⅲ 8日間 ・ 医療的ケア演習 4日間

6.　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

全てのレポートおよびe-Learning学習による評価が「C」以上。スクーリングにおいては8割以上の出席及び介護過程Ⅲの試験で60点以上、医療的ケア演習での実技を規定回数以上実施し合格評価を得ること。

F　　一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	レポート添削時の講評として、良い点・不足している点等を指摘し、次の学習に繋がるようアドバイスをする。e-Learningにおいては進捗状況把握に努め、必要に応じて個別対応を行う。質問票及び個別指導の希望にも随時対応している。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	本校の開講する国家試験受験対策講座への受講可能。 参考書籍・模擬試験等の情報提供を行う。

8.　その他の事項		
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　昌賢学園	(代表者名: 理事長　鈴木　利定)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
施設名称及び施設長名	群馬社会福祉専門学校	(施設長:　校長　　鈴木　賢二)
住所及び連絡先	群馬県前橋市元総社町152番地	TEL　027-253-0345
給付制度担当部署・者	実務者研修通信課程事務局	(担当者:　橋本　智子　　)
連絡先	TEL　027-253-0345	

一般教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① ＋ ②)	62,500	円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0	円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	62,500 (差引き後の金額	円 円)
	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④)	14,080	円
	①　テキスト・副読本代(税込額)	14,080	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③　施設維持費(税込額)	0	円
	④　その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0	円
	3.　総額 (1＋2) (税込額)	76,580	円

〔特記事項〕

認知症実践者研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。62,500円－5,500円＝57,000円

喀痰吸引等研修修了により受講料の割引を受けた場合は、その分を差し引いた金額が対象となる。 62,500円－13,000円＝49,500円